

季刊

社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2017年  
春号  
vol.13

## INDEX

- ◆ 附属病院長就任にあたって
- ◆ 平成29年度 事業団事業計画
- ◆ 経営戦略計画の成果指標と取り組み内容
- ◆ 介護ロボット導入好事例表彰事業で優秀賞を受賞しました！
- ◆ 居場所・サロン事業報告（3月）
- ◆ 第14回 名古屋市障害者スポーツ大会
- ◆ イベント情報
- ◆ 募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



## 附属病院長 就任にあたって

附属病院長 日比野 敬明



私は平成元年4月に、新たに設立されるリハビリテーションセンター附属病院に赴任しました。

赴任してみると、建物が立っているだけで機材は注射器すら1本なく、病院としての体制も何もない状態でした。病院としての機能をそろえるために半年の準備期間があり、平成元年10月に開院した当時のことを今でも覚えています。当時は私も若く、救命救急こそが医者の本分とっておりましたので、病院の設立のみに尽力し2、3年で急性期病院に再び赴任するつもりでおりましたが、月日の流れは速いもので今年で29年目となりました。

29年の間に、神経内科部長、医療部長、副院長を歴任し、患者さまの診察・治療を通じ、

病院・福祉に貢献することで歴代院長を補佐してきたつもりですが、このたび5代目の病院長を拝命することになり、皆さまのお力をお借りしなければならない立場になりました。

職員全員がリハビリテーションセンターの基本理念を遵守し、患者さまに親切で良質の治療を提供できるよう、病院環境の整備に力を注いでいきたいと考えております。

当院に受診される患者さまの多くが安心して治療を受けられ、愛されるリハビリテーションセンターであるために、職員全員で一層の努力と献身をしていく所存でございます。

今後とも皆さまのご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



# 平成29年度 事業団事業計画

平成29年度の事業計画および予算が、3月27日開催の理事会で決定されました。今年度の事業計画は、以下のような重点取り組み事項が挙げられています。

## 1 国の各種制度改革への適切な対応

### ●社会福祉法人制度改革

経営組織のガバナンスの強化や、事業運営の透明性の向上、さらには財務規律の強化といった社会福祉法改正の趣旨を踏まえ、新たに監査法人を置くなど当事業団として適切な法人運営に努めます。

### ●地域包括ケアシステムの推進

現在、平成37年（2025年）に向けて「地域における医療および介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（医療介護総合確保推進法）」等の下、医療機能の分化・強化、連携や医療・介護の一体的な基盤整備が進められています。当事業団においては、平成30年度に予定される診療報酬と介護報酬の同時改定の動向を踏まえ、回復期の状態である患者に応じて質の高い医療サービスを提供するとともに地域での療養や生活を継続できるよう、入院患者に対する退院支援への取り組み、介護サービスとの連携を強化します。

### ●障害者総合支援法の見直し

国は、障害者総合支援法施行後3年後の見直しについて、社会保障審議会障害者部会報告書において地域での暮らしが可能な障害者が安心して地域生活を開始・継続できるよう、地域生活を支援する拠点の整備・機能強化を掲げており、障害者支援施設や基幹相談支援センターの事業運営を行っている当事業団として、国の施策の動向に注意しながら必要な対応を行うとともに、引き続き適切な事業運営に努めます。

## 2 第3次経営戦略計画の着実な推進

平成28年度末で計画期間が終了した第2次経営戦略計画の達成状況を踏まえ、平成29年度を初年度とする第3次経営戦略計画に基づく着実な事業実施に努めます。

## 3 適切な施設の維持管理

利用者が安心・安全・快適に利用できるよう、施設の利用者である市と協議を進めながら計画的な施設の維持管理に努めます。

## 4 人材確保と人材育成

少子高齢化による労働力の減少など雇用環境の変化に対応し、継続的に質の高いサービスを提供できるよう、高い専門性、人間性を有する職員の確保、育成に取り組めます。

## 5 広報および研究活動の推進

事業団ウェブサイトや、広報誌等を活用した情報発信力の強化や広報を支えるマネジメント機能の整備を図り、より効率的かつ効果的に戦略的な広報を推進します。研究活動においては、既存の研究奨励のための制度（リハビリテーション研究基金による研究・業務関連研究）を活用し、さらなる調査・研究の推進に取り組めます。

## 6 その他の取り組み

### ●障害者スポーツセンターの運営

第3期指定管理期間の初年度として、利用者の変化に適切に対応するとともに、東京パラリンピックに向けた障害者スポーツの普及や、地域における障害者スポーツの振興に積極的に努めます。

### ●障害者就労支援センターめいりは第2期事業委託の準備

平成30年4月に更新が予定される障害者就労支援センターの事業受託に向けた準備を行います。

### ●身体障害者リハビリテーション研究集会2017の運営

平成29年11月9日、10日に本市で開催される身体障害者リハビリテーション研究集会2017において、研究発表を行うとともに事務局として円滑な運営に努めます。

## 経営戦略計画の成果指標と取り組み内容

第3次経営戦略計画の経営戦略目標に基づき、成果指標と年度別到達目標を定め、取り組みを実施します。名古屋市の障害者施策推進の一翼を担う中核施設として、適切に状況を捉え、常に利用者の立場に立った事業を推進していきます。

基軸	経営戦略目標	成果指標		年度別到達目標		取り組み内容
			29年度	30年度	31年度	
公共サービスの充実	<p><b>1</b> 利用者の意向を尊重し、利用者の可能性を最大限に発揮でき、必要なときに必要なサービスを受けられるよう、ライフステージに応じた支援を行います。</p> <p><b>2</b> 新たなニーズや、ニーズの変化を機敏に把握し、先駆的、先進的な事業に取り組むとともに、関係機関との密接な連携を促進し、相互の機能向上並びに、地域の障害者リハビリテーションや障害者サービスの充実を図り、情報発信、コーディネート等の中核的役割を果たします。</p> <p><b>3</b> 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。</p>	利用者満足度	90%以上	90%以上	90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域への移行、地域生活・社会生活の維持が円滑にできるよう、地域に向けた助言・啓発・研修など地域の関係機関等との連携を強化するとともに、相談支援機能を充実させるため法人内の連携を推進します。</li> <li>●リハセンターの潜在的な対象者がリハセンターを利用できるよう、他の医療機関、施設等からの利用経路を確立します。</li> <li>●職業的自立と社会参加を図るため、ハローワーク等の関係機関と連携し職場開拓を行い、就労後の職場定着の支援を強化します。また、職業的課題を抱える障害者に対し、関係機関と連携し相談支援を一体的に行います。</li> <li>●障害者や高齢者、地域住民の方が気軽に参加できるプログラムを充実し、スポーツ活動の機会の提供を行います。</li> <li>●2020年東京パラリンピックに向け、障害者スポーツを身近なものとして捉えてもらえるよう、地域のスポーツ施設と連携しながら、地域における障害者スポーツの普及・啓発を行います。</li> <li>●地域ネットワークづくり、福祉用具の製作・改造、IT（情報技術）支援を担う、テクノエイドセンター機能を充実します。</li> <li>●当法人の提供するサービスの質を数的に評価する重要な指標として満足度調査を実施し、利用者とその家族の意向を尊重するサービスの提供に努めます。</li> <li>●リハセンターの専門性、蓄積されたノウハウを活かし、地域での支援者となるべき専門職の育成のみならず、障害のある方やその家族、一般市民向けの研修会・講習会を開催します。</li> <li>●日頃の業務に関連する研究などを奨励し、研究に取り組みやすい職場風土づくりを推進します。</li> <li>●研究機関、企業など外部機関等との共同での取り組みを推進します。</li> <li>●リハビリテーション研究基金を活用してのリハビリテーション技術の研究開発を推進します。</li> <li>●事業団公式ウェブサイトなどを通じ、法人及び法人が運営する事業の機能・取り組みについて適時情報発信し、市民への広報活動を強化します。</li> </ul>
		附属病院（入院）	90%以上	90%以上	90%以上	
		障害者支援施設	90%以上	90%以上	90%以上	
		福祉スポーツセンター	90%以上	90%以上	90%以上	
		障害者スポーツセンター	90%以上	90%以上	90%以上	
		地域活動支援センター	90%以上	90%以上	90%以上	
		なごや福祉用具プラザ	90%以上	90%以上	90%以上	
		西部リハビリテーション事業所	90%以上	90%以上	90%以上	
		就労支援センター相談支援件数（年間）	3,600件	3,600件	3,600件	
		なごや福祉用具プラザ相談件数（年間）	12,000件	12,000件	12,000件	
域貢献活動・啓発事業など講習会等実施件数（年間）	35回	35回	35回			
講師派遣・講演件数	150件	150件	150件			
基幹相談支援センター地域関連機関とのケア会議等の件数（年間）	120件	130件	140件			
事業団公式ウェブサイト等のインターネット広報による情報発信件数（月間）	10件	10件	10件			
学会発表数	40題	40題	40題			
外部機関と共同で行った取込件数（年間）	5件	5件	5件			
財務内容の改善・向上	<p><b>4</b> 経費対効果を常に念頭に置き、制度改正等に即応した収入の確保や、経費の節減に努めます。</p> <p><b>5</b> 利用者にとって安心・安全で、快適な環境を提供するため、リスクマネジメント等の確立に取り組み、適正な法人運営、施設運営を行います。</p>	利用率	90%	90%	90%	<ul style="list-style-type: none"> <li>●医療・介護・福祉の各制度の内容を把握し、的確な運用に努めます。</li> <li>●入院時のリハビリテーションにおける提供単位数の拡充に努めます。</li> <li>●利用者のニーズに即した効率的な施設の管理運営に努めます。</li> <li>●業務統計システムの運用により、常に運営・稼働状況を把握し、法人経営の効率化、合理化に努めます。</li> <li>●利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、施設・設備の効果的な改善に努めます。</li> <li>●利用者に安心・安全で快適に施設をご利用いただけるよう、名古屋市と連携しながら、施設・設備の効果的な改善に努めます。</li> </ul>
		入院病床	90%	90%	90%	
		通所リハビリテーション	83%	83%	83%	
		自立支援入所	85%	85%	85%	
		自立支援日中活動	90%以上	90%以上	90%以上	
		入院患者1人当たりの疾患別リハビリテーション単位数（1日あたり）	4.5	4.5	4.5	
		福祉スポーツセンター利用者数（1日あたり）	150人	150人	150人	
		障害者スポーツセンター利用者数（1日あたり）	450人	480人	480人	
		設備面に関する利用者満足度	90%以上	90%以上	90%以上	
		人材力の強化	<p><b>3</b> 研究・開発の促進及び人材育成の観点から、部門間連携による研究・開発、他研究機関等との共同研究などの一層の推進に取り組みます。（再掲）</p> <p><b>6</b> 総合的な人材育成計画に基づいて、高い専門性とモチベーションを有する人間力豊かな人材を育成します。</p>	学会発表数（再掲）	40題	
外部機関と共同で行った取込件数（年間）（再掲）	5件			5件	5件	
自己啓発支援制度を利用した研修参加数（年間）	80件			80件	80件	
職員が企画運営する内部研修数（年間）	70件			70件	70件	



## 介護ロボット導入好事例表彰事業で 優秀賞を受賞しました!

授賞式



3月1日に東京で開催された介護ロボットフォーラム2016において、公益財団法人テクノエイド協会と厚生労働省が主催する「介護ロボット導入好事例表彰事業」の表彰式が行われました。

なごや福祉用具プラザが、事業団の関連部署や介護施設、開発メーカー等と取り組んできた介護ロボットの普及・啓発に関する取り組みが認められ、この度優秀賞を受賞しました。当該事業には95件の応募があり、そのうち優秀賞を受賞したのは8団体・企業でした。

当日はプレゼンテーションもあり、会場の方々に事業団の取り組みをお伝えしました。また、同時開催されていた介護ロボットシンポジウムでの、介護ロボットを活用した介護技術開発支援モデル事業成果報告会において今年度看護部にて実施した見守り支援機器の導入についての成果報告をさせていただきました。

これからも多職種、他機関の方々と共に介護ロボット関連事業に取り組んでまいります。皆さま今後ともよろしくお願いたします。



介護ロボット導入好事例  
表彰事業プレゼンテーション



介護ロボットを活用した介護技術  
開発支援モデル事業成果報告会

## 居場所・サロン事業報告



### 3月 眼疾患について

平成29年3月6日(月)に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、居場所・サロン事業「眼疾患について」を開催しました。名古屋市立大学病院眼科の水谷武史先生をお招きし、加齢によって誰にも起こりやすい眼の病気、主に「白内障」「緑内障」「加齢黄班変性」の3つについてご講義いただきました。

白内障は、日常生活に支障をきたした時=手術の受け時であるとのこと。日常生活に支障が出たら、

85歳くらいまでには手術を受けて余生の視力を確保しておくといわれています。

緑内障は、緑内障に

よって視野が欠損した場合は改善ができないため、早期診断が大切とのことでした。眼圧を下げる治療が必要で、いったん治療に踏み切った場合、生涯にわたり継続して治療をする必要があります。

加齢黄班変性は、網膜の中心部に異常血管が発生する病気で、病気が進行すると本が読めなくなったり、人の顔が見えなくなったりしてしまいますが、定期的に目に注射を打つことにより進行を抑えることはできるそうです。やはり違和感を覚えたら早めに受診をすることが大切です。

講義に引き続き開催した相談会では、参加者の皆さまからご自身の実際の体験を踏まえてのご質問が複数あり、関心の高さが伺えました。今後も地域にお住まいの皆さまのお役に立てるよう、さまざまな企画を立てていきたいと考えています。



イベント報告

## 第14回 名古屋市障害者スポーツ大会 (陸上競技・フライングディスクの部)

平成29年5月7日(日)、パロマ瑞穂スタジアムで第14回名古屋市障害者スポーツ大会を開催しました。競技では、陸上競技に389名、フライングディスクに254名の参加があり、選手全員がスピード、力、技を競い合いました。

今年の10月に愛媛県で開催予定の第17回全国障害者スポーツ大会の選手選考も兼ねており、愛媛県大会のマスコット「みきゃん」と来年度開催地である福井大会マスコット「はぴりゅう」が応援に来てくれました。さらに、名古屋市マスコットの「はち丸くん」が駆けつけてくれ、大会を大いに盛り上げてくれました。

今年度は障害者スポーツの普及、発展を目的として、競技場の外に障害者スポーツ体験コーナー「はち丸パーク」を新設しました。内容は、障害者スポーツの中でも興味・関心度の高いバスケットボール用車椅子体験コーナー、人気のフライングディスク体験コーナー、リオ2016パラリンピック競技大会でも日本代表が銀メダルを獲得し、東京2020パラリンピックでも活躍が期待されるポッチャの体験コーナーを設けました。また、障害者スポーツのパネルを展示し、選手のみならず介助者や保護者、地域の方々も障害者スポーツにふれ合っていたいただき、笑顔があふれる大会となりました。



陸上競技の様子



フライングディスクの様子



はち丸パークの様子

## イベント情報

### 第36回 東海障害者卓球大会 (一般卓球の部)

日程：平成29年6月10日(土)・11日(日)



### 第14回 名古屋市障害者スポーツ大会 (アーチェリーの部・水泳の部)

日程：平成29年6月11日(日)・8月27日(日)

### サウンドテーブルテニス (STT) 審判講習会

日程：平成29年8月20日(日)

場所、対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◆問い合わせ：名古屋市障害者スポーツセンター 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

### ●前期家族介護者教室「楽しく介護のすすめ～心と体の健康講座～」

名古屋市内東部・北部・西部・南部・中部で実施。各4回。

対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

◆問い合わせ：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056



事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>

# 事業団職員大募集

## 「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

**正規職員** 事務・社会福祉職、理学療法士

**嘱託職員** 生活支援員補助、嘱託看護師

近日募集案内公開  
(平成29年夏頃  
採用試験実施予定)



### お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

**事業団ウェブサイト** <http://nagoya-rehab.or.jp>



## 事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710